

研究開発課題について御議論いただきたい事項

事業全般

- 公募テーマの内容（事業内容）は、テーマの背景にある課題の解決に資するものになっているか。また、その課題が、（SBIR フェーズ 3 事業終了後以降も含めて）挙げられているか。テーマの背景にある課題として考えられるものは他にないか。
- 想定されるアウトカムは、事業内容や開発・実証成果と整合性のあるものになっているか（定性面）。想定されるアウトカムの考え方や算定は合理的かつ十分なものか（定量面）。
- 予算額は、事業を実施する上で過不足ないと思われるか（不自然に過大に又は過小に見積もられていないか、必要な項目が抜けていないか、課題と無関係の項目が入っていないか等）。

研究開発内容

- 開発・実証を行う技術・知見等は、事業内容や課題の解決と整合性のあるものになっているか。当該技術・知見等に新規性・先進性・有効性・優位性はあるか。事業を実施する上で、必要又は重要と考えられる技術・知見等は他にないか。
- 社会実装に至るまでに必要な開発・実証の項目（解決する必要がある技術的な課題とその対応を含む。）がロードマップに示されているか。ロードマップに、事業進捗の分水嶺となる課題解決等の適切なタイミングでステージゲートが設けられているか。
- 想定されるアウトプットや達成目標は、事業内容や開発・実証の項目と整合性のあるものになっているか。想定されるアウトプットや達成目標は、評価が可能な設定となっているか。

社会実装に向けた取組

- 社会実装に至るまでのプロセスの中で、関係者（PJ 担当課、関係省庁、フォローアップ委員会等）が果たすべき役割や担う取組内容が明確に示されているか。その役割・取組内容は社会実装の実現に適合しているか。
- フォローアップ委員会の運営を含め、社会実装の実現に向けた伴走支援等をするに当たって、社会実装の実現に向けて適切と考えられる者を関与させる形となっているか。
- 標準化や制度構築対応など、開発・実証の成果を広く市場に浸透させる取組が予定されているか。社会実装の実現に向けて、必要又は重要と考えられるものは他にないか。